

2 社 会

「政治・経済」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第2学年 選択科目

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 現代の政治と経済について、広い視野に立って理解を深めます。 2 現代の政治・経済の基本的な問題について、主体的に考え客観的に判断する力を身につけるための基礎を養います。 3 一人ひとりが社会の担い手であるという自覚を持って、日々変化を遂げる現代の政治・経済・国際社会に目を向け、公平なものの見方・考え方を養います。
使用教科書・副教材	「新版政治・経済」(実教出版) 他資料集

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理 第1節 暮らしと政治 1. 暮らしに心地よい政治とは 2. 人権と法の支配 3. 民主主義と多数決 第2節 人権保障と法の支配 1. 日本国憲法の基本原理 2. 法の下での平等 3. 自由権 4. 社会権 5. 人権を確保するための権利 6. 新しい人権 第3節 政治参加とその課題 1. 政党の役割 2. 選挙制度と課題 3. 世論と政治 第4節 日本の政治制度 1. 国会 2. 内閣 3. 裁判所 4. 地方自治 第2章 現代の国際政治 第1節 国際政治の動向 と国際法 1. 国際社会の成り立ち 2. 20世紀の国際社会 3. 核兵器と人類 4. ナショナリズムと国際協調 5. 国際紛争の発生と解決 6. 国際社会と人権	4	・私達は何のために国家を形成したのか、民主政治とは何のためにあるのか理解を深めます。 ・私達の暮らす社会が、国民主権・法の支配・権力分立・人権保障などの制度を取り入れて成立していることに気付き、民主主義の基本原則について理解を深めます。 ・明治憲法下の体制との比較を通じて、今日の憲法が民主的な内容であることを理解します。 ・具体的な事例を通じて私達に保障された基本的人権の種類や性質について理解を深めます。	・ホームルーム活動における修学旅行事前研究と関連させながら、学習を進めます。 ・新聞記事なども題材にしながら、具体的事例を学習したりします。	第1学期期末考査
	5				
	6	・現代政治が政党政治と表現されることに注目し、政党のはたらき、役割、問題点を理解します。 ・日本の選挙制度を学び、主権者としてどうあるべきかを理解します。 ・日本の政治制度の仕組みとはたらきについて立法権・行政権・司法権の基本事項を理解し、問題点を考えます。 ・地方自治の意義と、地方のおかれている現状の問題点について理解を深めます。 ・冷戦構造、核開発競争、人権保障の歴史など20世紀の国際社会の特徴を把握し、冷戦終結後の国際問題や現代の国際政治の特徴、国際紛争のさまざまな要因について理解を深めます。	・ホームルーム活動における修学旅行事前研究と関連させながら、学習を進めます。 ・新聞記事なども題材にしながら、具体的事例を学習したりします。		
	7				
【課題・提出物等】 ・授業の中で使用するプリント。 ・授業の中で書いたレポート等					
【第1学期の評価方法】 ・期末考査の評価の割合を70%、その他のプリントやレポートなどの提出物および活動の内容や、学習活動への参加の姿勢や態度の評価の割合を30%とするのを原則とします。					

第2学期	第2節 国際機構の役割と日本の安全保障 1. 国際連盟から国際連合へ 2. 国際連合と集団安全保障 3. 憲法第9条と日本の安全保障 4. 安全保障政策の基本原則 5. 自衛隊をめぐる問題 6. 国際協調と日本の平和 第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容と現代経済のしくみ 第1節 現代経済の成り立ち 1. 経済社会に生きる私達 2. 三つの経済主体と家計の役割 3. 国民所得と国富 4. 経済社会のあゆみと資本主義経済 5. 日本経済のあゆみ 第2節 現代経済のしくみ 1. 企業の機能 2. 市場の種類と役割 3. 市場機能の限界 4. 物価と経済成長、景気変動 第3節 財政のしくみと金融のはたらき 1. 政府の役割 2. 租税と国債 3. 金融の役割 第4節 現代経済の特質と福祉の向上 1. 自由競争経済の基盤 2. 雇用をめぐる諸制度 3. 社会保障 4. 消費者保護と企業の社会的責任	9	- 国際的な平和機構がどのように構築されたかを学習し、集団安全保障体制についての理解を深めます。 - 憲法第9条と日本の安全保障政策を見つめ、自衛隊の存在や日米安全保障体制をからめて、現実の問題を考察して理解を深めます。 - 国際社会の一員として日本はどのような立場に立つべきかを考察し理解を深めます。 - 私達が生活している経済社会が、どのようなしくみで動いているか、また、社会主義経済との比較を通じて、資本主義経済の特質や問題点を探ります。 - 戦後の復興、高度経済成長、石油危機、バブル経済とその崩壊など、日本が直面してきた出来事を通じて日本経済の理解を深めます。	- ホームルーム活動における修学旅行事前研究と関連させながら、学習を進めます。 - 新聞記事なども題材にしながら、具体的事例を学習したりします。	第2学期期末考査
		10			
		11	- 株式会社の形態と発展してきた理由を学習し、理解を深めます。 - 景気変動と経済成長の関連を理解します。 - 税金のしくみや政府の予算、国債発行の現状と課題について理解を深めます。 - 政府が行う財政政策と、中央銀行が行う金融政策によって景気の調整がどのように行われるかの理解を深めます。	新聞記事なども題材にしながら、具体的事例を学習したりします。	
		12	社会が抱える問題に対処するために、政府がどのような法律や制度を作り、国民生活を支えてきたか整理し、今後の課題等を明らかにして理解を深めます。		
	【課題・提出物等】 - 授業の中で使用するプリント。 - 授業の中で書いたレポート等 【第2学期の評価方法】 - 期末考査の評価の割合を70%、その他のプリントやレポートなどの提出物および活動の内容や、学習活動への参加の姿勢や態度の評価の割合を30%とするのを原則とします。				
	第2章 国民経済と国際組織 第1節 国際経済のしくみ 1. わたしたちの生活と国際経済 2. 貿易と国際分業の理論 3. 国際収支と為替相場 第2節 国際経済と国際組織 1. 世界経済のあゆみ 2. 食糧問題と市場開放 3. 南北格差と地域統合 第3節 国際経済の特質と日本の役割 1. 経済のグローバル化 2. 国際経済のなかの日本 第3編 現代社会の諸問題 第1章 現代日本の政治や経済の諸問題 1. 大きな政府と小さな政府 2. 少子高齢社会と社会保障	1	- 貿易などを通じて、身のまわりの生活が国際経済とつながっていることへの理解を深めます。 - 為替相場や国際収支への理解を深め、円高と円安の影響を考察します。 - 為替相場の変動が国内経済や貿易にどのような影響を生じさせるか考察します。 - 地域的経済統合の動き、南北問題、南南問題について学習し、国際経済の発展に果たすべき日本の役割について考察します。 - 経済のグローバル化がもたらすさまざまな事象をとらえ、日本がどのように対応していくべきかを考察します。	新聞記事なども題材にしながら、具体的事例を学習したりします。	学年末考査
		2	第1編から第2編で学習した内容を発展させ、調査・研究を通じて理解を深めます。私達の身近なところから、政治や経済、国際社会へのかかわりと日本の役割を考察します。		

第 3 学 期	3. 住民生活と地方自治 4. 情報化の進展と市民生活 5. 労使関係と労働市場 6. 産業構造の変化と中小企業 7. 消費者の自己責任原則 8. 公害防止と環境保全 9. 農業と食糧問題 第2章 国際社会の政治や 経済の諸問題 1. 地球環境問題 2. 軍備と軍縮 3. 国際経済格差の是正と 国際協力 4. 経済摩擦と外交 5. 民族問題 6. 21世紀の課題と日本の役割	3		
【課題・提出物等】 ・ 授業の中で使用するプリント。 ・ 授業で書いたレポート等				
【第3学期の評価方法】 ・ 学年末考査の評価の割合を70%、その他のプリント、レポート、などの提出物および活動の内容、学習活動への参加の姿勢や態度の評価を30%とするのを原則とします。				
【年間の学習状況の評価方法】 下記(2)に示した4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績、及び第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・ 「社会科＝丸暗記」のイメージがあると思いますが、それ以上に自ら考え、有機的に関連して理解する（原因や理由から考えていき、どのような過程を経ていくのかという筋道をしっかりと理解する）ことが大切です。 ・ 板書事項をただそのまま書き写すだけではなく、先生の説明で自分で重要だと思ったことなどをメモするなど工夫をすると、大切な考え方の過程を理解することができます。 ・ 普段から新聞やTVなどで、現代の社会の動きについて興味・関心を持つように心掛けて下さい。 ・ 自分の考えを持つために、幅広く授業だけでなく日常生活で目にする様々な文章（図表）をしっかりと読んで理解することが大切です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・ レポートやプリントなど、提出物は遅れずに必ず提出するようにして下さい。 ・ 講義形式以外に、視聴覚による学習など学習内容に応じた形態で行いますので、それぞれの学習に関して積極的に参加するように心掛けて下さい。 ・ 授業中の疑問や意見などはなるべく発言するように心掛けて下さい。そのことから新しい見方や別の考え方を学ぶ機会ができてと思います。 ・ できるだけ「なぜだろう」と考えていく姿勢を持って授業に臨むように努力して下さい。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
関心・意欲・態度	・ 意欲的に課題を追究するとともに、客観的な視点に立って考えようとする態度で授業に臨んでいるか。 ・ 社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進に向けて、授業に主体的に参加、協力しようとしているか。	・ 学習活動への参加の仕方や態度 ・ 作業プリント ・ レポート
思考・判断	・ 現代の政治、経済、国際関係にかかわることがから課題を見出すことができるか。 ・ 見出した課題について、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立ち多面的・多角的に考察できるとともに、社会の変化やさまざまな立場、考え方を尊重し公正に判断することができるか。	・ 定期考査 ・ 作業プリント ・ レポート ・ 発表の内容や仕方

資料活用の技能・表現	・必要となる資料をさまざまなメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用することができるか。 ・それとともに、追究し考察した過程や結果をさまざまな方法で適切に表現することができたか。	・定期考査 ・作業プリント ・レポート
知識・理解	・現代の政治、経済、国際関係に関する基本的なことがらや、その本質、特質や動向をとらえる基本的な考え方や理論を理解し、その知識を身に付けているか。	・定期考査 ・小テスト

3 担当者からのメッセージ

- ・政治・経済は現代の社会で生きていくために必要な知識の宝庫です。ただ単に知識を詰め込むだけではなく、それを基礎に現代の社会を深く見詰め、論理的な考え方や視野の広い考え方ができるようにします。
- ・できる限り、新聞記事や視聴覚的な機材を使って、講義形式にとらわれない授業を展開しようと思っていますので、積極的に学習に取り組んで下さい。